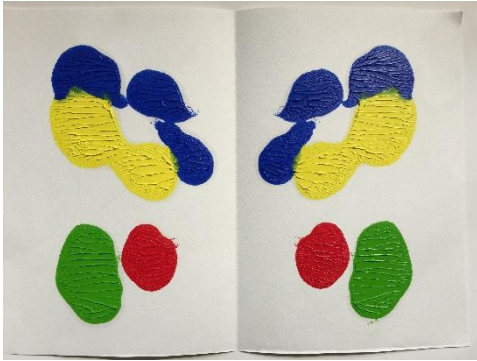


# 「造形表現技術」関係資料

## 1 技法

### (1) デカルコマニー（合わせ絵）

紙を2つ折りにし、その片面に絵の具をのせ、紙をたたんで上からこする。開くと左右対称の模様ができる。



### (2) スタンピング（型押し）

形のあるものに、絵の具などをつけ、画用紙に押してその形を楽しむ。ハンコを押す要領で形をつくる。



### (3) ドリッピング（吹き流し）

水分を多く含んだ絵の具を、紙に落として模様をつくる。また、絵の具を落としたあと紙を傾けて線をつくったり、紙に落とした絵の具をストローで吹いて線をつくる。



（ストローで吹いてつくった線）

### (4) フロッタージュ（こすり出し絵）

凹凸がある物の上に紙を置き、その紙の上から色鉛筆やクレヨンでこすると形が浮かび上がる。



### (5) ローリング

ビー玉などに絵の具をつけ、バットの中に入れた紙の上で、ビー玉を転がすと線ができる。



### (6) バチック（はじき絵）

クレヨンなど、水分をはじくもので模様を描き、その上から絵の具で塗ると、クレヨンが水をはじいて模様が浮かび上がる。



(7) スパッタリング

ブラシに絵の具をつけ、紙の上で網にブラシを押し付けてこすると、紙に霧のように色がつく。木の葉などの型を置いた上からスパッタリングをしたあと、木の葉をはずすと、木の葉の形が白く浮かび上がる。



(9) ステンシル

型紙をつくり、紙の上に型紙を置く。水で溶いた絵の具を筆やティッシュにつけて、その型紙の内側や外側をたたくようにして絵の具をつける。その後型紙をはずすと模様ができる。



(11) スクラッチ (ひっかき絵)

白い紙にクレヨンやパスで明るい色を塗り、その上に黒などの暗い色を塗る。その後、割りばしなどの棒で引っ掻くと、下から明るい色が出て、引っ掻いた部分が模様になる。



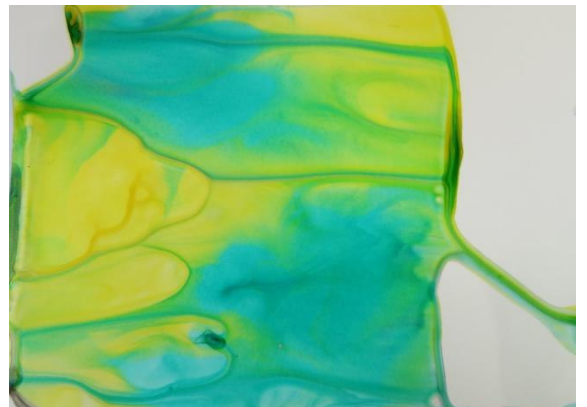
(8) 糸目転がし

サララップの芯や棒にたこ糸を巻き付け、そのタコ糸に絵の具をつけて、紙の上を転がすと模様ができる。



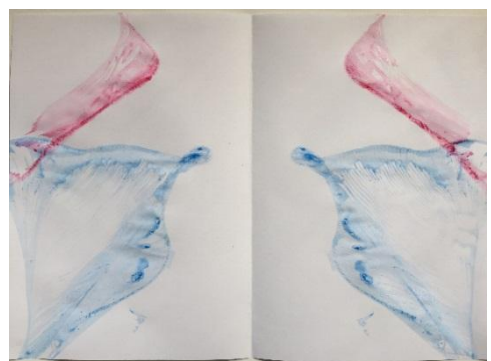
(10) マーブルリング (墨流し)

水を入れたバットに、絵の具を数滴垂らした後、棒などで静かに流れを作る。その水面に紙をのせて数秒おいたあと、静かに紙を取り出すと模様が紙に写る。



(12) ストリング

絵具をつけたタコ糸を紙にはさみ、紙を押さえながらタコ糸をゆっくりと引き抜くと模様ができる。





(13) コラージュ（貼り絵）

絵の具などは使用せずに、画用紙の上に、切ったりちぎったりした紙を貼っていくことで形をつくる。



(14) にじみ絵

あらかじめ濡らした紙の上に、筆で絵具をのせると、ゆっくりと色が広がりにじんだ状態になる。



## 2 幼児画によく見られる特徴

(1) なぐりがき（スクリブル、錯画、乱画など）

偶発的な幼児の手の動きによって、描かれる点や線を指す。



(2) 基底線構図

画面上に一本の線（基底線）を描き、空の部分と地面の部分、あるいは空の部分と水の部分などに空間を分けて描く。



(3) 頭足人

幼児の最初の人物表現で、頭から手足が出ているような構成になっている。



(4) 折半式構図（転倒式描法）

2本の線を描き、その外側に倒したように描く。



※プールで遊ぶ人たちを描いた絵

(5) 多視点構図（異方向同存式描法）

ある表現について、一方向からの視点だけではなく、多方向から見たものを1つの平面に並べて表現する。



(7) 集中構図（集中比例法）

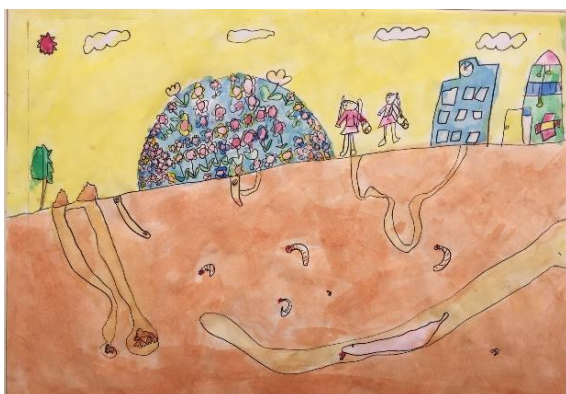
自分が興味を持ったものや印象に残っているものを大きく描く。



※園のお芋掘りのあとに描いた絵

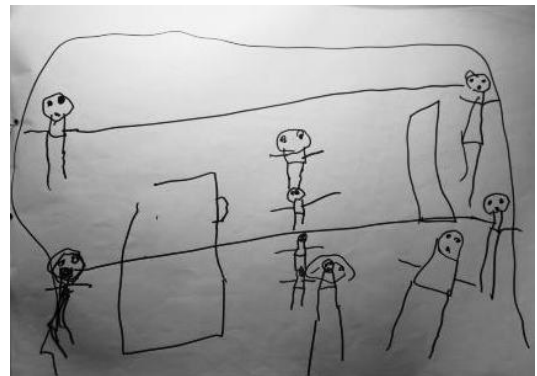
(9) 異時同存描法

◎積み上げ遠近構図, 透視構図, 基底線構図, 異時同存描法等がみられる絵



(6) 積み上げ遠近構図

近くのを下に描き、遠くのをその上に描く。



(8) 透視構図（レントゲン描法）

実際には見えない内部を断面図のように描く方法。



※地面の中の様子も描いている

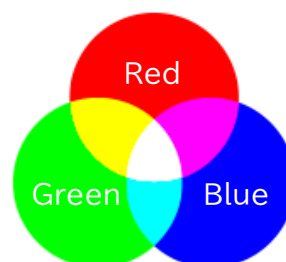
### 3 色彩

(1) 光の三原色

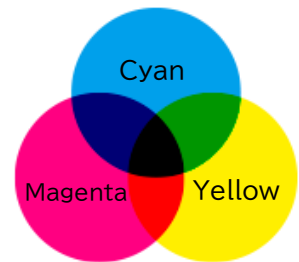
RGB (Red:赤,Green:緑,Blue:青) である。混ぜ合わせることで明るくなり,白に近づいていく。

(2) 色の三原色

CMY (Cyan:シアン,Magenta:マゼンタ,Yellow:イエロー) である。混ぜ合わせることで暗くなり,黒に近づいていく。



光の三原色



色の三原色